



学校だより 第3号

平成23年4月23日(土)
発行者：新宿区立
新宿西戸山中学校

《保護者会資料》

本日は、お忙しい中、また、貴重な休日にもかかわらず授業参観及びそれに引き続く保護者会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、新宿西戸山中学校の、今年度の教育活動についての基本的な考え方をお伝えするために開かせていただきました。

次に示しますのは、「学校経営方針」の抜粋です。この方針を基盤として、教育目標を達成するために全教職員心を一つにして精進する所存です。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【学校経営方針】(抜粋)

本校は、多くの方々の期待を担って誕生した学校です。新校に対する期待の大きさは、現時点では、誰も正確に把握することは不可能なほど、大きいものがあると考えます。

本校で学ぶ生徒たちから、異口同音に「この学校で学んでよかった」という言葉が語られるよう、教職員は心一つにして、公立中学校の良さを最大限に発揮できるよう、誠心誠意努めたいと思います。そのために、下記に掲げる「目指す学校像」に基づく学校づくりを行っていかうと考えます。ご理解をいただき、全教職員が心一つにして実現に向け、邁進したいと思います。

1 学ぶ喜びを思う存分味わえる学校

【学習指導】

◎基礎基本の徹底

- *新学習指導要領全面实施を1年後に控えた今年度は、改訂の趣旨を踏まえ、各教科・領域等における「基礎・基本」を的確に押さえ、完全習得を可能にするよう、「指導内容の見直し、教材研究の充実」、「指導方法の工夫改善」を図る。
- *「生きる力」の育成をより一層推進するとともに、「道徳教育との関連」についても全教職員で研究・研修し、各教科の年間指導計画等に位置付け、学習活動の充実を図る。
- *新学習指導要領の重点の1つ「言語活動の充実」

【本校の教育目標】

人間尊重の精神を基盤として、感謝と畏敬の念をもち、伝統文化を継承し、世界的視野に立って新しい社会・文化を創造する人間の育成を目指す。

○教養と品格を磨き、心身ともに自らを鍛える生徒〔鍛錬〕

○豊かな人間性や社会性を身に付け、自ら進んで社会に参画する生徒〔参画〕

○夢や希望の実現を目指し、自らの可能性を信じて挑戦する生徒〔飛躍〕

についても全教職員で研究・研修し、各教科の年間指導計画等に位置付け学習活動の充実を図る。

*今夏に予定されている、平成24年度使用教科用図書の選定に向け、新学習指導要領の内容を十分に理解し、新教科書の研究・評価を行うとともに、本校の生徒の学習に最も望ましい教科書について研究を深める。

*「学び」への関心・意欲を喚起する創意工夫した学習活動の充実を図る。

「ICT教育環境を活用した授業の工夫改善」について、理論研究も含め、実践的な研究を深める。

*放課後学習支援事業を活用し、生徒の学習を支援し、学ぶ意欲・態度の向上を図る。

*家庭における学習習慣の確立のための指導を、各学年・教科において、発達段階に応じて工夫充実を図る。

◎PISA型読解力の育成

*全教科・領域等を通して、①学習内容を正しく理解する →②自分なりの考え・意見を持つ →③表現・発表する(音声・文字・図表など、多様な表現・発表形態、コミュニケーションの場の保障)、この3つの学習過程を意図的・計画的に盛り込み、グローバル・スタンダードである、「数学的リテラシー」、「科学的リテラシー」、「問

題解決能力」、「読解力」等の向上を図る。

◎「国語力」の育成

- ＊全教科・領域等を通して、国語（言語）を使って、「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」を発揮させ、それらの能力を高める学習過程を工夫する。

◎区学力推進員等の活用

- ＊「確かな学力推進員」「連携推進員」等の人材を活用し、多様な学習形態、学習方法を提供することにより、生徒の学びへの関心・意欲を高める。
- ＊学生ボランティア（教育ボランティア、メンタルフレンド等）を活用し、個に応じた指導を改善工夫する。

【生活指導】

◎生徒一人一人の個性が共感・共鳴し合う学年・学級経営の充実

- ＊一人一人の生徒の教育的ニーズを的確に把握し、ニーズに応じた適切な指導を系統的・継続的に推進する。特別支援教育コーディネーターを中心に、全ての生徒の教育的ニーズに組織的に応えるよう努める。
- ＊学年・学級経営の内容を充実させ、集団活動のメリットを生かして、生徒の自主的・主体的な活動を促す。

◎心の教育の充実

- ＊多様な体験的活動を充実させ、心を耕す教育の充実を図る。そのため、スクール・カウンセラー、スクール・コーディネーター等との連携を一層深める。
- ＊食育をはじめ、心身の健康の維持・増進を主体的に図る生徒を育てる教育活動の充実を図る。

◎育てる生活指導の充実

- ＊「育てる生活指導」を強力に推進するために、リーダーシップ、メンバーシップの醸成を目指し、学校行事、学年・学級行事、生徒会・委員会活動、部活動等に生徒の積極的な参加・参画を促し、生徒が成就感・達成感を味わえる教育活動の充実を図る。
- ＊一人一人の生徒を全教職員が育てているとの認識に立ち、情報の共有化に努め、生徒理解を深めるとともに、教育相談的な生徒指導の充実を図

る。

◎「気力・体力の伴わない知力は知力たり得ない」という認識の醸成

- ＊全ての教育活動を通して、「気力・体力の伴わない知力は知力たり得ない」ということを理解させ、何事にも真剣に取り組ませることにより、気力の充実、体力の向上を図る。

◎部活動の充実

- ＊全教職員が新学習指導要領の趣旨を十分理解し、部活動顧問を担当し、生徒達に充実した学校生活を保障する。

【進路指導】

◎生徒一人一人の個性を伸長させ、可能性を開花させる進路指導の充実

- ＊第2学年での「職場体験」のより一層の充実を図る。第1・3学年においても体験的な進路指導の充実を図る。
- ＊志を高く持ち、社会の一員としての責任と自覚を高めるため、キャリア教育の一層の充実を図る。
- ＊進路指導においては、次のようなキャリア教育における4領域8能力を獲得できるように指導の充実改善を図る。

○人間関係形成能力

- ＊自他の理解能力
- ＊コミュニケーション能力

○情報活用能力

- ＊情報収集・探索能力
- ＊職業理解能力

○将来設計能力

- ＊役割把握・認識能力
- ＊計画実行能力

○意思決定能力

- ＊選択能力
- ＊課題解決能力

【以下省略】

《今年度の生徒向けアピール》

Never say “can't.” — 笑顔で、夢を語ろう —

生徒たちが、自分の未来を信じて、胸を張って歩いていくことを願い、「笑顔」あふれる学校、「夢」を語る学校を築いていこうと考えます。